



一般研究用キット

Kamyloid® FFPE Amyloid Protein Isolation Kit

Kamyloid® FFPE アミロイドタンパク質抽出キット

Cat. No. AZA001

2024年11月12日作成

www.cosmobioc.jp

【I-1】背景

アミロイドタンパク質は組織、器官等に沈着することで様々な疾患に関与していることが知られています。本製品は、ホルマリン固定パラフィン包埋組織よりアミロイドタンパク質を選択的に抽出するキットです。抽出したアミロイドタンパク質は質量分析、ウエスタンプロット法など様々なタンパク質解析に使用できます。また、ホルマリン固定することで生細胞、凍結組織からもアミロイドタンパク質を抽出することができます。

特許出願中：特願 2018-030511
Kamyloid® は学校法人麻布獣医学園の商標登録です。

【I-2】キット構成品（50 assay 分）

保存温度：常温

内 容	容量	数量	取扱上の注意
Buffer1	10 mL	1 本	取扱う際には眼鏡・手袋などの保護具を着用の上、人体の接触を避けるよう十分に配慮してください。
Buffer2	10 mL	1 本	

【II -1】アミロイドタンパク質抽出操作

- 1 ホルマリン固定パラフィン包埋薄切切片 (10 μm 厚、1 枚) に Buffer1 を 200 μL 加え、室温で 10 分間静置する (脱パラフィン操作)。
- 2 Buffer 2 を 200 μL 加えてボルテックスにかけ、室温で一晩静置する。
- 3 室温、15,000 g、15 分間遠心して下層を回収し、各種タンパク質分析に用いる。

※凍結切片など未固定の試料については、予め 10% ホルマリン固定を行ってください。

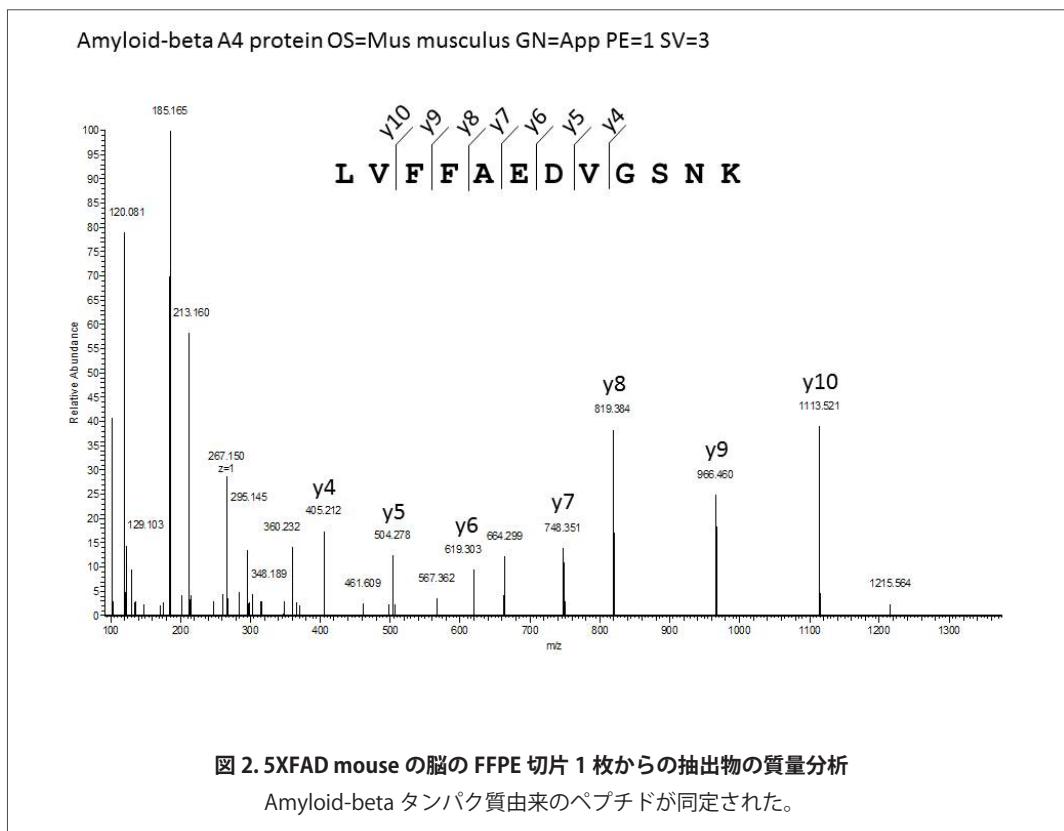
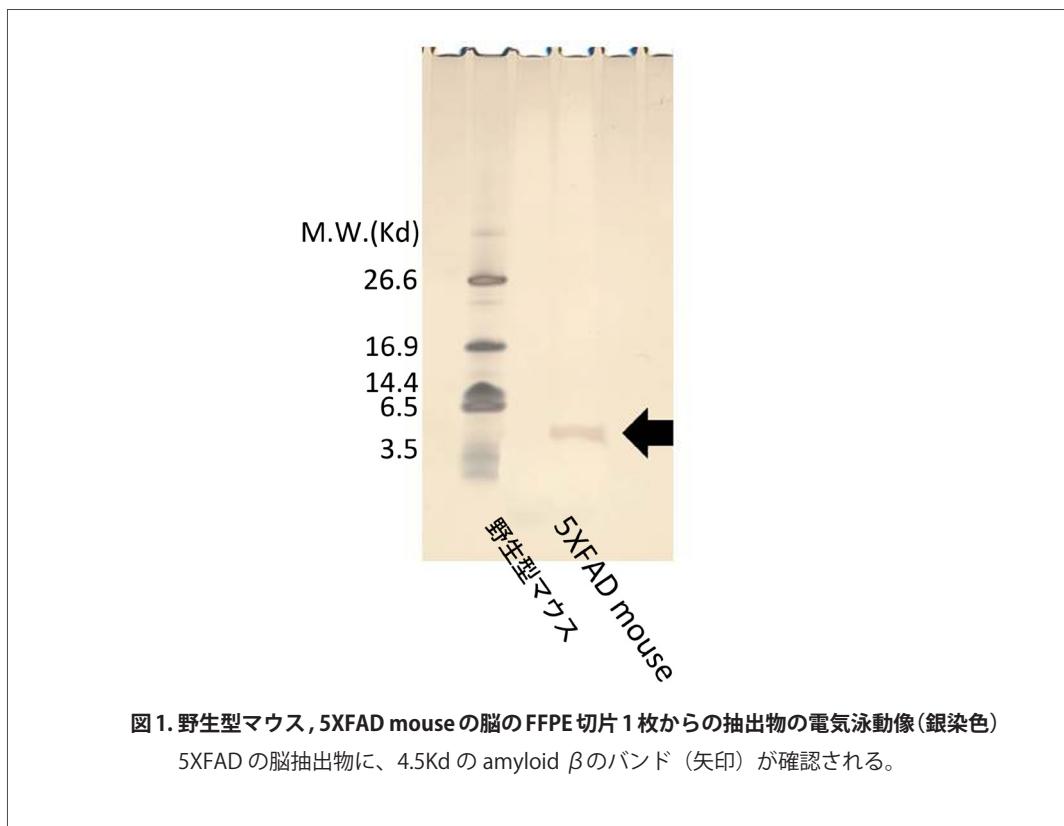
【II -2】SDS-PAGE 用サンプル調整方法

- 1 回収したサンプルをエバポレーターで乾燥させる。
※ 60°C に加熱し、30 分以内に乾燥してください。30 分以上乾燥させると銀染色した際にバンドがスメアになります。
- 2 乾燥したサンプルに Sample Buffer を 20 μL 加え、90°C、5 分間煮沸し、電気泳動、銀染色を行う。
※銀染色を行う場合は非還元 Sample Buffer の使用を推奨しています。非還元条件で実施していただく方が良好な染色像が得られます。

【II -3】質量分析用サンプル調整方法

- 1 回収したサンプル 10 μL に希釀液を 90 μL 加える。
- 2 トリプシン 0.5 $\mu\text{g}/\mu\text{L}$ を 1 μL 加え、37°C、16 時間反応させる。
- 3 C18 チップカラムで脱塩し、質量分析を行う。

【III】アミロイドタンパク質 検出実験例



【IV】関連商品

メーカー略号: DCB

品番	品名	包装	貯蔵
423420	トリス SDS サンプル処理液 (非還元条件用)	20 mL	4°C
423437	トリス SDS β -ME サンプル処理液 (還元条件用)	20 mL	4°C
423468	SDS- トリス - グリシン泳動バッファー (10 ×)	500 mL	常温
423475	SDS- トリス - トリシン泳動バッファー (10 ×)	500 mL	常温
423413	2D- 銀染色試薬・II	1 パック (ミニゲル 10 枚用)	4°C

SDS-PAGE 用 プレキャストポリアクリルアミドゲル
マルチゲル®II

詳しい情報はコスモ・バイオ Web サイトへ

コスモ・バイオ Web サイトトップページ「記事 ID 検索」に、記事 ID で示された数字を入力して検索してください。
ダイレクトにページへ行くことができます。

http://www.cosmobioc.jp/ 【記事 ID 検索】

